

決算帳票の確認ポイント

【貸借対照表】 流動資産－流動負債＝【収支計算書】 次期繰越収支差額

(ただし、流動負債より引当金は除く。)

イコールではない場合の原因として考えられること

Point 1 4月から合わない場合

前期繰越収支差額が正しく入力されていますか。

➔ 新新会計対応等で前年度と事業が変更になった場合は、

【特殊】 > 【期首残高入力】で

科目種別 49 当期収支差額

大科目 02 前期繰越収支差額

を選択し、認定事業単位で、総額が前年度の次期繰越収支差額と同額になるように入力してください。

➔ 前年度と事業に変更がない場合は、

【年度特殊処理】 > 【期首残高更新】を行ってください。

Point 2 退職金支払月や賞与支払月から合わない場合

正しい仕訳伝票が打たれていますか。

仕訳例は、ホームページのサポートお客様専用ページをご確認ください。

Point
3

収支計算書科目から伝票を打たれているお客様は正味財産増減計算書科目に
正味財産増減計算書科目から伝票を打たれているお客様は収支計算書科目に
数字が反映されていない場合

科目の新規作成時に仕訳マスタを登録されましたか。

バランスマン会計では、仕訳マスタに登録することにより、
収支計算書科目から伝票を打たれているお客様は正味財産増減計算書科目に
正味財産増減計算書科目から伝票を打たれているお客様は収支計算書科目に
伝票作成時に自動で計上されます。（以下、これを追加仕訳という）

【マスタ保守】 > 【仕訳マスタ】で、該当科目の追加仕訳が登録されていることをご確認ください。

→ 追加仕訳の登録がある場合、伝票入力画面の修正モードで該当伝票を呼び出し、「仕訳存在無」ボタンをクリックし「仕訳ボタン有」に変更して実行ボタンを押してください。

→ 追加仕訳の登録がない場合
仕訳マスタの登録を行ってください。

仕訳マスタが登録されていない科目を見つける方法

- ① [貸借対照表] 流動資産－流動負債＝[収支計算書] 次期繰越収支差額が合わなくなった月を見つけます。
- ② 【日次月次】 > 【合計残高試算表】を[月度] ①の月、[表示位置] 細節で表示。
- ③ 収支計算書科目と正味財産増減書科目を比較し、相違のある科目を見つけます。

仕訳マスタが登録されていない伝票を見つける方法

- ① 仕訳マスタが登録されていない科目を見つける方法③の科目名をクリックし、元帳に飛びます。
- ② 伝票番号をクリックし、伝票を開きます。伝票入力画面の修正モードで該当伝票を呼び出し、「仕訳存在無」ボタンをクリックし「仕訳ボタン有」に変更して実行ボタンを押してください。